

No.17

さいたまけんかわぐちし
埼玉県川口市

はっこう にせんにじゅうにねんじゅうがつ
発行 2022年10月

と も と も

TOMO×TOMO

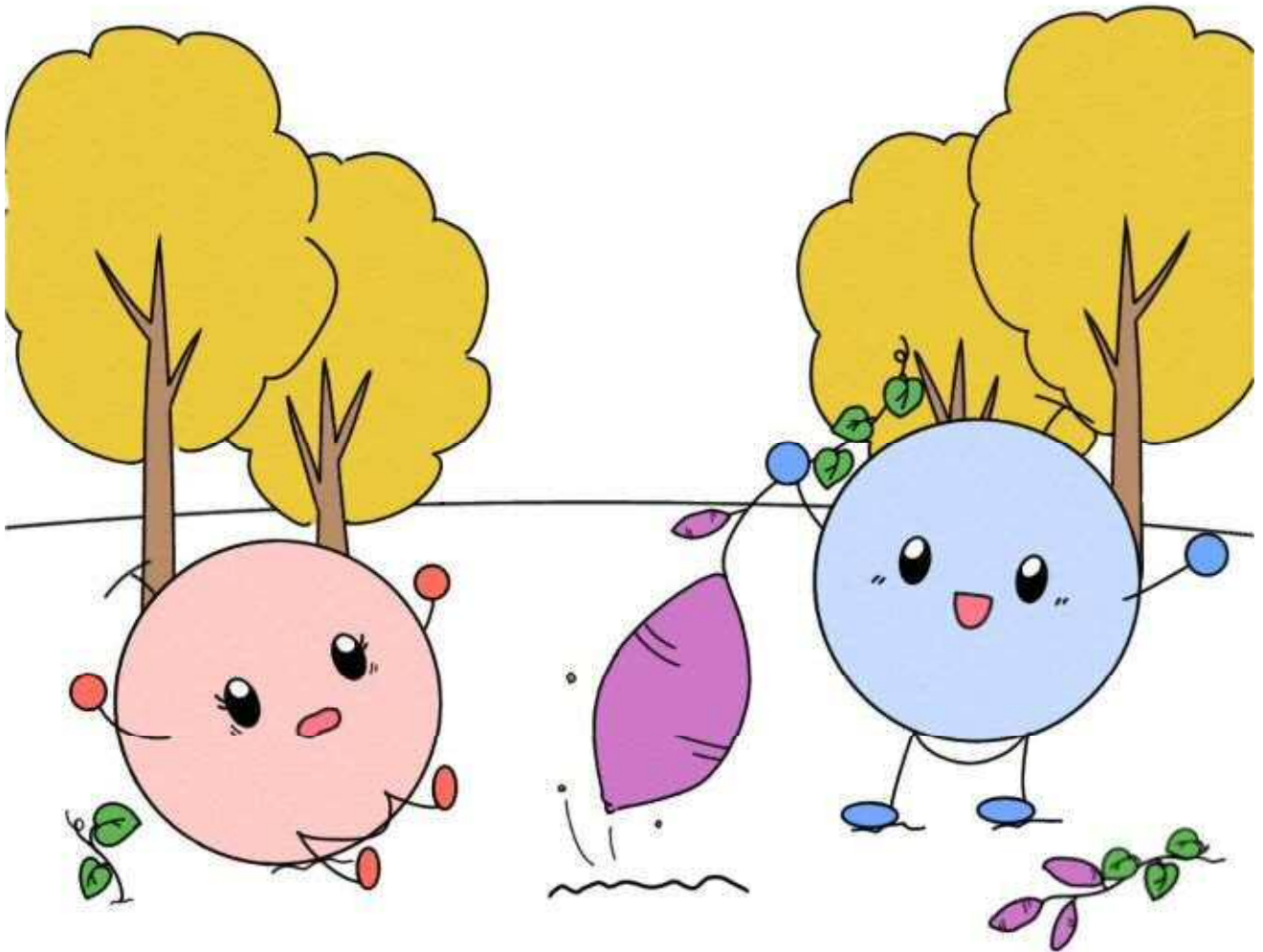
がいこくじん にほんじん じょうほうし
外国人と日本人のための情報誌

Newsletter for international friendship and foreign residents

为外国人与日本人共同创办的信息杂志

Tạp chí thông tin dành cho người nước ngoài và người Nhật

외국인과 일본인을 위한 정보지



とびくす
トピックス

かわぐちしりつ やかんちゅうがっこう
・川口市立の夜間中学校

ちゅうむく はとがやちく れきし ぶんか
・注目！鳩ヶ谷地区の歴史と文化

かわぐちし しんちょうしゃ
・川口市の新庁舎

◇ 特集 とくしゅう p. 1-2

がいこくじんむ ぽーたるさいと
外国人向けポータルサイトができました
Portal Site for Foreign Residents Has Just Arrived
めんこうがいこくじんのかもんじょうさいとがでんじょう
面向外国人的门户网站已经建成
cong thong tin dien tu danh cho nguoi nuoc ngoai moi ra doi
Công thông tin điện tử dành cho người nước ngoài mới ra đời
わいこくじんを 위한 포털 사이트가 생겼습니다
외국인을 위한 포털 사이트가 생겼습니다

● 日本語 にほんご p. 3-6

かわぐちしりつ やかんちゅうがっこう
川口市立の夜間中学校
ちゅうむく ほとがやちく れきし ぶんか
注目！鳩ヶ谷地区の歴史と文化
かわぐちし しんちゅうしゃ
川口市の新庁舎
かわぐちし ぼらんていあにほんごきょうしつしやうかい なんぼーじゅうご
川口市のボランティア日本語教室紹介 (No.15)

● 英語 (English) えいご p. 7-10

Kawaguchi Municipal Night-Time Junior High School
Come and See! Historical and Cultural Assets of Hatogaya Area
New Government Building of Kawaguchi City
A Volunteered Japanese Language Class in Kawaguchi City(No.15)

● 中国語 (中文) ちゅうごくご p. 11-13

川口市立的夜间中学
关注！鸠谷地区的历史和文化
川口市的新政府办公大楼
川口市志愿者日语教室的介绍 (No. 15)

● ベトナム語 (Tiếng Việt) べとなむご p. 14-16

Trường trung học cơ sở chính quy buổi tối thành phố Kawaguchi
Đặc sắc! Văn hoá và lịch sử quận Hatogaya
Tòa nhà hành chính mới thành phố Kawaguchi
Giới thiệu lớp học tiếng Nhật tình nguyện ở thành phố Kawaguchi (No. 15)

● 韓国語 (한국어) かんこくご p. 17-19

가와구치시립 야간중학교
주목! 하토가야 지구 역사와 문화
가와구치시 신청사
가와구치시 불런티어 일본어 교실 소개 (No. 15)

◇ コラム 世界の言葉を使ってみよう！ こらむ せかいのことば つか p. 10

◇ 川口市ボランティア日本語教室一覧 かわぐちしぼらんていあにほんごきょうしついちらん p. 21

とあ かわぐちし しみんせいかつぶ きょうどうすいしんか たぶんかきょうせいかり
問い合わせ 川口市 市民生活部 協働推進課 多文化共生係
かわぐちしかわぐちいち いち いちきゅぽーらほんかんとうえんぶんかい しみんぼーとなーすてーしょん
〒332-0015 川口市川口1-1-1 キュポ・ラ本館棟M4階 かわぐち市民パートナーズステーション
TEL 048-227-7607 FAX 048-226-7718
かわぐちし ぼーむぺーじ こうかい みぎ にげんこーど らん
川口市のホームページでも公開しています。右の二次元コードからご覧いただけます。



かわぐちし
川口市

がいこくじんせいかつが い ど
外国人生活ガイド

がいこくじんむ ぼーたるさいと

外国人向けポータルサイトができました！

こーど よ と し じょうほう せんたく

QRコードを読み取り、知りたい情報を選択してね！

Portal website service for Foreign Residents
have started ! Please read QR code,
and select information you need !

面向外国人的门户网站已经建成！
请扫QR码选择自己想要的信息吧！



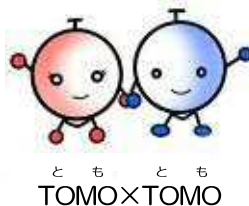
Đã mở cổng thông tin dành cho
người nước ngoài ! Đọc mã QR, và hãy
lựa chọn thông tin cần biết !



Mayroon ng Portal Site Para sa mga Dayuhan!
Basahin ang QR Code,
piliin ang gustong malamang Impormasyon!

외국인을 위한 포털 사이트가 생겼습니다!
QR코드를 스캔하고 궁금한 정보를 선택하세요!

Yabancılar için Portal sitesi oluşturuldu !
QR kodunu okutup öğrenmek istediğin
bilgiye tıkla!



と あ かわぐち しきょうどうすいしん か た ぶん ぶん かきょうせいけいかり
問い合わせ：川口市協働推進課 多文化共生係 TEL : 048-227-7607

外国人向けポータルサイトができました

税金やごみ捨てなど川口市で暮らすために、必要なルールやマナー、市の情報などを多言語で掲載したポータルサイトを開設しました。



一番の特徴は、QRコードを読み取ると、利用者のスマートフォンの設定言語が直接表示され、母国語で簡単に情報を得られることです。対応言語は、やさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語、韓国語、タガログ語、トルコ語の7言語です。それ以外の言語は英語で表示されます。

もしご近所や学校、町会や自治会で困っている外国人住民がいたら、このポータルサイトをぜひ紹介してください。

(※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。)

Portal Site for Foreign Residents Has Just Arrived

To clarify your question on tax payment, garbage disposal, etc. that are essential to live in Kawaguchi city, we have opened a multilingual portal site providing standard rules and manners, municipal information, etc.

The most distinguishing feature of this portal site is that once you scan a QR code with your smartphone, it pops up the contents in your selected language on the phone. 7 accessible languages are plain Japanese, English, Chinese, Vietnamese, Korean, Tagalog, and Turkish. If your phone setting is in other language, they are all displayed in English.

If you find foreign residents having problems around you, at school, in town-block or residents' association, please let them know about this portal site.

(※“QR code” is a registered trademark of DENSO WAVE INCORPORATED.)

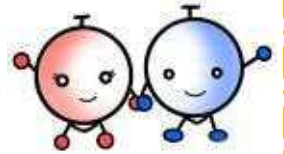
面向外国人的门户网站已经建成

我们开设了多语言门户网站，为大家提供例如有关税金和垃圾处理等在川口市生活需要了解的规则、礼仪以及川口市的信息等。

这个网站的最大的特点是，读取二维码后，直接显示您的智能手机所设置的语言，让您可以轻松地从母语获取信息。支持的语言有简单日语、英语、汉语、越南语、韩语、他加禄语和土耳其语。除此以外的语言以英文显示。

如果您的邻居、学校、町会和自治会有因不懂日语而烦恼的外国居民，请一定要向他们介绍这个门户网站。

(※该QR码为株式会社DENSO WAVE的注册商标。)



Cổng thông tin điện tử dành cho người nước ngoài mới ra đời

Thành phố Kawaguchi đã thiết lập cổng thông tin điện tử có giới thiệu các quy tắc và cư xử cần thiết, các thông tin từ thành phố để sinh sống ở thành phố Kawaguchi như thuế, cách vứt rác, v.v. bằng đa ngôn ngữ.

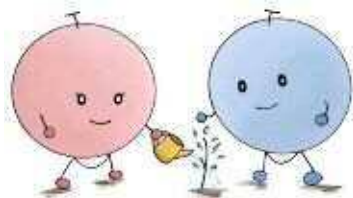
Đặc điểm lớn nhất là khi chụp mã QR Code, ngôn ngữ thiết lập trên điện thoại thông minh của người dùng sẽ được hiển thị trực tiếp để lấy thông tin bằng tiếng mẹ đẻ của mình một cách đơn giản. Có đối ứng 7 ngôn ngữ đó là tiếng Nhật để hiểu, tiếng Anh, tiếng Trung Quốc, tiếng Việt, tiếng Hàn Quốc, tiếng Tagalog, tiếng Thổ Nhĩ Kỳ. Ngoài ra, những ngôn ngữ khác sẽ được hiển thị bằng tiếng Anh.

Nếu ở hàng xóm, trường học, hội cư dân hay hội tự trị của các bạn có cư dân người nước ngoài gặp khó khăn, nhất định hãy giới thiệu cổng thông tin điện tử này nhé.

(※Mã QR Code là thương hiệu đăng ký của Công ty cổ phần Denso-Wave.)

외국인을 위한 포털 사이트가 생겼습니다

세금이나 쓰레기 버리기 등 가와구치시에서 살기 위해 필요한 규칙이나 매너, 시의 정보 등을 다언어로 게재한 포털 사이트를 개설했습니다.



가장 큰 특징은 QR코드를 읽으면 이용하고 있는 사람의 스마트폰 설정언어가 직접 표시되어 모국어로 간단히 정보를 얻을 수 있습니다. 대응언어는 쉬운 일본어, 영어, 중국어, 베트남어, 한국어, 타갈로그어, 터키어의 7개 언어입니다. 이 언어외에는 영어로 표시됩니다.

만약, 이웃이나 학교, 초회나 자치회에서 곤란을 겪고 있는 외국인 주민이 있으면 꼭 이 포털 사이트를 소개해 주시기 바랍니다.

(※QR코드는 주식회사 덴소웨브의 등록상표입니다.)

かわぐちしりつ やかんちゅうがっこう 川口市立の夜間中学校

かわぐちしりつ つしばにしちゅうがっこうようしゅんぶんこう へいせいさんじゅういち にせんじゅうきゅう ねんしがつ かいこう さいたまけん ゆいいつ やかんちゅうがっこう はる くさき
川口市立芝西中学校陽春分校は、平成 3 1 (2019)年4月に開校した埼玉県で唯一の夜間中学校です。春、草木が
めぶ せいと ところ めば 平成 きも たいよう
芽吹くように、生徒の心に芽生えた「学びたい」という気持ちを、太陽のように
やさしくあたたかく照らし、支援しながら大きな花として咲かせられるよう“陽春”
なつ
と名付けました。



＜学校の概要＞

やかんちゅうがっこう ひるま はたら せいと じゅぎょう よる せいと
夜間中学校は昼間に働いている生徒のために、授業は夜にあり、生徒は
ごごよじ ごごよじにじゅぶん あいだ どうこう いちにち よつ じゅぎょう
午後4時から午後5時20分の間に登校します。1日に4つの授業があり、
かくじゅぎょう よんじゅぶんかん とちゅう しょくじきゅうけい げこう ごごくじごろ
各授業は40分間です。途中で食事休憩もあるので、下校は午後9時頃になり
ます。

がくしゅないよう こくご しゃかい すうがく りか えいご おんがく びじゅつ ほけんたいいく ぎじゅつ
学習内容は国語、社会、数学、理科、英語、音楽、美術、保健体育、技術

かてい きょうか どうとく そうごう とくべつかつどう じゅぎょう ひるま ちゅうがっこう おな たいいくさい がっしやうこんくーる はじ
家庭の教科のほかに、道徳、総合、特別活動の授業もあります。また昼間の中学校と同じように体育祭や合唱コンクールを始
め多くの行事があります。

きほんてき いちねんせい にゅうがく さんねんかんべんきょう せいと がくしゅじょうきょう おう さんねんせい にゅうがく せいと そつぎょう
基本的には1年生に入学して3年間勉強しますが、生徒の学習状況に応じて、3年生から入学する生徒もいます。卒業す
ると中学校の卒業資格を得られます。

＜多様な生徒＞

にゅうがく さいたまけん す じゅうごさいいじょう かた かてい じじょう がっこう い かた ふとうこう じゅうぶん ちゅうがっこう
入学できるのは、埼玉県に住んでいる15歳以上の方です。家庭の事情で学校に行けなかった方や不登校で十分に中学校
べんきょう かた にほん く がいこくせき かた せいと
の勉強ができなかった方、日本で暮らす外国籍の方など、さまざまな生徒がいます。



しゅざいじてん よんじゅうさんにん せいと ざいせき いちねんせいじゅうごめい にねんせいろうめい
取材時点では43人の生徒が在籍していました(1年生15名、2年生6名、
さんねんせいじゅうごめい ねんだい じゅうだい ろくじゅうだい はばひろ かわぐちしがい かよ
3年生22名)。年代は10代から60代まで幅広く、川口市外からもたくさん通っ
ています。年齢や住まい、国籍などの区別なく、中学校の勉強をしたい方が一緒
に勉強する場所であることが、夜間中学校の大きな特徴です。

ぜんせいと やくさんぶん に がいこくせき くに かず ふいりびん ちゅうごく ぼきすたん ぶらじる
全生徒の約3分の2が外国籍で、国の数はフィリピン、中国、パキスタン、ブラジル
じつ こく およ にほんご がくしゅ ひつやう がいこくせき せいと いちねんせい あいだ
など10か国にも及びます。日本語の学習が必要な外国籍の生徒は、1年生の間だ
こくご しゃかい りか じかん にほんごがくしゅ か
け国語、社会、理科の時間を日本語学習に替えることができます。

にほん こうこう はい べんきょう がいこくせき せいと さんねんせい ぼきすたんじん せいと そつぎょうご こうこう しんがく
日本の高校に入るために勉強している外国籍の生徒もいます。3年生のパキスタン人の生徒は、卒業後は高校に進学し、さ
らに専門学校で勉強して美容師になりたいという夢を話してくれました。

＜授業などの特徴＞

ひと じゅぎょう せいとすう すうにん じゅうにん ていど せんせい せいと
1つの授業の生徒数は数人から10人程度なので、先生が生徒
ひとりひとり ようす み せいと りかいど あ
一人一人の様子をよく見ることができます。生徒の理解度に合わせた
ていねい しどう やかんちゅうがっこう よ てん
丁寧な指導ができることが、夜間中学校の良い点です。

がいこくせき せいと おお とくちゅう い とりく ろうか
外国籍の生徒が多いという特徴を生かした取り組みもあります。廊下の
かべ くに ことば か あいさつ は しゅう
壁には、さまざまな国の言葉で書かれた挨拶が貼られており、週ごとに
ふいりびんういーく ぶらじるういーく くに き じゅぎょう
「フィリピンウィーク」「ブラジルウィーク」といったように国を決めて、授業
かいしまえ ほーむるーむ しゅう くに ことば あいさつ
開始前のホームルームに、その週の国の言葉で挨拶をしています。



じゅうだい せいと ねんばい せいと たぶれつと つか かた おし にほんご がいこくせき せいと ぼくご おな
また、10代の生徒が年配の生徒にタブレットの使い方を教えてあげたり、日本語がよくわかる外国籍の生徒が母国語と同じ
くに せいと おし たす あ やかんちゅうがっこう とくちゅう
国の生徒に教えてあげたりするなどの助け合いがあることも夜間中学校の特徴です。

取材後の感想

生徒の皆さんは「行かなくてはいけないから」ではなく、「もう一度中学校の勉強をしたい」「日本語や日本の中学校の勉強をして、高校に入りたい」など目標があります。自分の意志で学びに来ている点で夜間中学校の学びは価値があると感じました。

かわぐちしりつしづにしちゅうがっこうようしゆんぶんこう

川口市立芝西中学校陽春分校

住所:川口市並木1-26-1

(最寄駅:JR京浜東北線西川口駅東口から徒歩約14分)

※令和6(2024)年にJR京浜東北線蕨駅近くに移転予定

電話:048-497-1893



注目！鳩ヶ谷地区の歴史と文化

川口市のちょうど真ん中に位置する鳩ヶ谷地区。平成23(2011)年に川口市と合併するまでは「鳩ヶ谷市」でした。平成13(2001)年、埼玉高速鉄道が開通すると、鳩ヶ谷地区に「鳩ヶ谷駅」と「南鳩ヶ谷駅」ができました。この路線は、東京メトロ南北線や、のちに東急目黒線とも直通運転するようになり、交通の便が格段に良くなりました。それに伴い、鉄道開通当時は約56,000人だった人口も、令和2(2020)年時点で約65,000人と増加し、発展しています。

皆さんは日光御成道を知っていますか？日光御成道は江戸時代、徳川家康が祀られている日光東照宮に歴代将軍が参拝するための特別な道で、その途中にある鳩ヶ谷宿は大変栄えていました。宿場の中心地だった御成坂公園(鳩ヶ谷本町)には、大名行列が描かれた3枚のタイル絵と、からくり時計があります。文字盤は干支の漢字12文字で表され、作動時間になると大名行列をイメージした人形が現れて音楽が流れるという、とてもユニークな時計です。周辺には、当時の風情が感じられる建物もたくさん残っています。



からくり時計から歩いて数分のところには、「川口市立文化財センター分館郷土資料館」があり、川口市の歴史と文化、また、鳩ヶ谷地区出身の偉人などについても展示されています。

鳩ヶ谷駅の1階には、鳩ヶ谷地区の特産品・名産品の展示コーナーがあります。そこにあるのが、日本独自の竹製の釣り竿、「和竿」です。昔は芝川の周辺などで、弾力があり釣り竿に向いている竹が取れたそうで、そこから地域の産業となったそうです。意外なところでは、鳩ヶ谷地区に本社と工場がありコマースでも見かける、ランドセルメーカーのランドセルも展示



されています。

また、鳩ヶ谷地区には、昭和10(1935)年から大手ソースメーカーの工場があり、ソースは地元の人たちの食生活にとってもなじみがあります。その極めつきである、ご当地グルメ「鳩ヶ谷ソース焼きうどん」は平成20(2008)年に誕生しました。鳩ヶ谷地区の「まちおこし」のアイデアとしてソース焼きうどんが選ばれたのは、埼玉県のうどん生産量が全国上位であり、鳩ヶ谷地区におおてそーすめーかーの工場があるからでした。その後、埼玉B級ご当地グルメ王決定戦に出品されたり、テレビの取材を受けるなど、だんだんと知られるよ

うになりました。おいしいソース焼きうどんを出す飲食店もありますので、ぜひ一度味わってみてください。

秋のよく晴れた爽やかな天気の中で、歴史や文化がある、魅力的な鳩ヶ谷地区をめぐってみませんか？

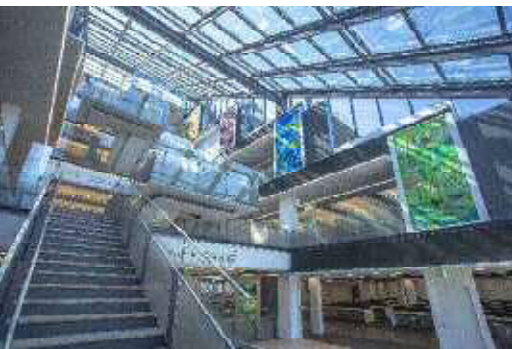
川口市立文化財センター分館 郷土資料館ホームページ
http://www.kawaguchi-bunkazai.jp/kyoudo/index.html
鳩ヶ谷商工会ホームページ
https://hatogaya.or.jp

川口市の新庁舎

これまでの本庁舎は建設から60年以上が経過し、建て替えが待たれておりましたが、令和2(2020)年3月に新庁舎1期棟(第一本庁舎)(以下、新庁舎という)が完成し、5月から新庁舎での業務が開始されました。転入・転出手続きをはじめとして、日々の暮らしに関わりがある新庁舎について紹介します。

<災害に強く環境にやさしい建物>

新庁舎には自然災害に備えてさまざまな工夫が施されています。例えば、地震の揺れを少なくする免震構造になっています。また、水害(荒川氾濫リスク)に備えて浸水高さ4mに対応できるような高さ5mで防災広場の役割を果たす「ペDESTリアンデッキ」があり、これは2階床と同じ高さです。また、複数の階段が設置され、全方位から避難者を受け入れられます。



環境面への配慮としては、ひな壇テラスや外構植栽があり、植木のまち川口を象徴する庁舎となっています。自然エネルギーを利用した緑による外気冷却や日よけ、バルコニー面の照り返しを利用した間接光の導入、太陽光発電パネルなどもあります。また、新庁舎のシンボルとなるのは「シビック・キューポラ」という吹抜空間です。これは自然光を積極的に取り入れるとともに、吹抜の煙突効果を利用して風通しがよくなっています。この吹抜空間はガラス張りになっており、各階に飾られた絵が眺められるような構造になっています。

<だれもが利用しやすいサービス>

初めて利用する人にもわかりやすいよう、エントランスの正面には総合案内があります。また、オストメイト対応のトイレ(多目的WC)、授乳室、キッズスペース、点字ブロックなどが配置されています。さらに、市のホームページで窓口の呼び出し・混雑状況を確認できるページがあり、利用する人に対する細やかな配慮がされています。3階には、日常的によく利用する市民課、国民健康保険課、国民年金課などがあります。そして、毎週木曜日に市民課の前に中国語とトルコ語の通訳が在駐しています。これは、日本語に不慣れな外国人への配慮です。市役所での手続きがわからない時や日本語での会話が難しい場合など、困った時に予約不要で気軽に相談できます。また、ごみ捨てルールなどの生活に必要な情報を記載した資料が、日本語だけでなく多言語でも用意されています。

新庁舎では、日常の業務を行うことに加えて、川口の魅力をより広めるため、いろいろなイベント等も行っています。毎月1回程度、「市役所マルシェ」が1階の多目的スペースで開催されており、市内で生産された農産物等を販売しています。また、2階のエントランスにはショーケースを2台置いて、市内で製造・加工・企画されている製品を展示しています。川口市をもっと知るためにぜひ行って見てはいかがでしょうか。

問い合わせ先

川口市役所

住所: 〒332-8601 川口市青木2-1-1

電話: 048-258-1110(代表)

電話受付時間: 午前8時30分～午後5時15分

(土曜日、日曜日、祝日、年末年始を除く)



かわぐちし ぼらんていあにほんごきょうしつしやうかい
川口市のボランティア日本語教室紹介
 にしかわぐちにほんご
 ～西川口日本語ひろば～

とも とも かわぐちし ぼらんていあにほんごきょうしつ しやうかい こんかい にしかわぐちにほんご しやうかい
 TOMO×TOMOでは、川口市にあるボランティア日本語教室を紹介しています。今回は「西川口日本語ひろば」を紹介し
 ます。

きょうしつ ようす
◇教室の様子

にしかわぐちにほんご へいせいじにじゅうご にせんじゅうさん ねんじゅうがついつか がいこくじん おやこ にほんごきょうしつ はじ にめい
 「西川口日本語ひろば」は平成25(2013)年10月5日に、「外国人親子のための日本語教室」として始まりました。2名
 のボランティアから始まった教室は、親子以外の外国人も受け入れるため、「西川口日本語ひろば」に名前を変えました。

きょうしつ けいひんとうほくせんにしかわぐちえきにしぐち と ほ じゅうごふん よこぞ ね こうみんかん まいしゅう
 教室は、JR京浜東北線西川口駅西口から徒歩15分の横曽根公民館で、毎週
 土曜日の午前11時から午後12時30分まで開催されています。学習者はさまざま
 な年齢や職業の方がいます。取材当日は休日の昼間ということもあり、小学生以下の
 小さな子どもや技能実習生、主婦の方などが参加していました。中国出身の方が最も
 多く、そのほかにタイやガーナ、バングラデシュ、ベトナムの方も参加していました。



たの にほんご まな くふう
◇楽しく日本語を学ぶための工夫

にほんごきょうしつ たの にほんご がくしゅう くふう きょうしつ はじ じゅういちじ きょうしつ お じゅうにじさんじゅうふん
 日本語教室では、楽しく日本語を学習するための工夫がされています。教室が始まる11時と教室が終わる12時30分の
 計2回、学習者とボランティアが円になって集まります。そして全員で、簡単な日本語の
 勉強をします。取材をした日は、みんなで日本語でのじゃんけんの練習をしていました。



けいにかい がくしゅうしや ぼらんていあ えん あつ ぜんいん かんたん にほんご
 普段の学習内容は、小学生までの子どもグループ、初級グループ、中級・上級
 グループの3段階に分かれていますので、学習者のレベルに合った勉強ができます。学習
 教材は、ボランティアが用意したもの、学習者が持ってきた参考書、併設した図書館より
 借りてきたものなどを使用しています。ホワイトボードを使って日本語を教える
 ボランティアや、教えてもらったことを熱心に手帳に書き込んでいる学習者の姿が見ら
 れ、教室全体が生き生きとして活気にあふれていました。

また、季節に合ったイベントや課外活動も開催しています。プラネタリウム見学をしたり、たたら祭りに踊り子として参加したり、
 日本の正月遊びを教わったり、教室を飛び出した日本語学習も行っています。これまでは、コロナの状況から課外活動を
 制限していましたが、状況を見て再開する予定です。

ひと いばしよ
◇もう一つの「居場所」に

にしかわぐちにほんご にほんご おし がくしゅうしや はや にほん せいかつ な しえん せいかつ こま ごと
 「西川口日本語ひろば」では、日本語を教えるだけでなく、学習者が早く日本の生活に慣れるための支援や生活の困り事の
 相談にも乗っています。教室は「安心してくつろげる心の拠り所を作る」という考えのもとに、学習者に「行きたい、行くと楽し
 い」居心地のいい空間を提供しながら運営を続けています。興味のある方はぜひ、気軽に教室を訪ねてください。

きょうしつ なまえ にしかわぐちにほんご
教室の名前: 西川口日本語ひろば
 かわぐちし ぼらんていあにほんごきょうしついちらんなんばんじゅうご
 (川口市ボランティア日本語教室一覧 No.15)
 かつどうにちじ だいしゅうどう ようびごぜんじゅういちじ ご じゅうにじさんじゅうふん
活動日時: 毎週土曜日午前11時～午後12時30分
 ばしよ よこぞ ね こうみんかん かわぐちしなからじゅう じゅうろく
場所: 横曽根公民館 川口市仲町10-16
 けいひんとうほくせんにしかわぐちえきにしぐち と ほ じゅうごふん
 (JR京浜東北線西川口駅西口から徒歩15分)
 れんらくさき たかがわ
連絡先: 080-6547-1032 (高川さん)



Kawaguchi Municipal Night-Time Junior High School

Kawaguchi Municipal Shiba Nishi Junior High School Yo-shun Branch School, opened in April 2019, is the sole night-time junior high school in Saitama Prefecture. The name “Yo-shun (spring tide)” comes from their dearest wish that the aspiration for learning that grew up in each student’s mind can finally bear fruit by being gently watched over like under the warm sun and supported by all the staff.

<About school>

For daytime workers, this night-time junior high school starts late in the afternoon. Most students come to school at around 16:00 – 17:20. They have 4 classes a day, each class lasts 40 minutes. There is a meal break between classes, then they leave school at around 21:00.

In addition to the main subjects of Japanese, social studies, math, science, English, music, art, P.E., technical arts & home economics, students take ethics class, integrated learning class, and extracurricular activities. Also, they have many annual events that include athletic meet, choral competition, just like day-time junior high schools do.



Basically, students start a 3 years’ course from first-year class, however, if one’s educational situation is officially acknowledged, that student will be allowed to start from third-year class. When you finish the curriculum, you will get the certificate of completing the junior high school course in Japan.

<Students with a variety of background>

Anyone aged over 15 and lives in Saitama Prefecture can enter this school. Students whose school attendance in the past had been hampered by family reasons, students who could not finish the curriculum due to non-attending situation, students with foreign nationalities, etc. every students has their own backgrounds.

At the time of this interview, there were 43 registered students (15 in first-year, 6 in second-year, 22 in third-year) in the school. From teenagers to age 60’s, students are coming to this school not only from Kawaguchi but also from other areas. The most specific features of this school is that they offer the opportunity of learning for those who wish to learn junior high school’s curriculum regardless of age, residing area, and nationality.

Two third of the students have foreign nationalities who are from Philippine, China, Pakistan, Brazil, etc. that count 10 in all. They are making special arrangement for students in need of language lessons to replace subjects of Japanese, social studies, and science to intensive Japanese lessons during their First-year.

I found students with foreign nationalities who want to enter Japanese Senior High School. A year -3 student from Pakistan told me her dream of getting into a Senior High School, then finally proceed to a technical school to be a beautician.



<How the course goes in class>

They have around ten students in one class, so the teacher can take a closer look at each student. Ideal form of teaching at night-time junior high school lies here that they can provide attentive lessons by accommodating with each student’s comprehension.

Also, they are making the best of their own international atmosphere. On the wall in the hallway, you will see words of greetings in various languages are tacked up. They are having weekly events as “Philippine Week”, “Brazil Week”, in which they salute each other in that language of the week in the homeroom period before class starts.

In this school, we often see that teenaged students are teaching elderly students how to use tablets, or well-skilled Japanese speaking students teaching Japanese to their fellows. Mutual aid deserves special mention in this school.

<After interview>

Not by “Obligation”, but “Desire to study junior high school course once more”, “Learn Japanese and take courses of Japan’s junior high school curriculum and get certificate to sit for entrance exam for senior high school” move them forward. They have decided to come here to learn on their own decision. In this point, pursuit of learning at night-time junior high school is unique and fully worth of attending.

Kawaguchi Municipal Shiba Nishi Junior High School Yo-shun Branch School

Address: 26-1, Namiki 1-chome, Kawaguchi City

(from: JR Keihin-Tohoku Line, Nishi-Kawaguchi Station, East Exit, walk 14 min.)

※ Scheduled to transfer to a place near Warabi Station, JR Keihin-Tohoku Line in 2024.

Phone :048-497-1893



Come and See! Historical and Cultural Assets of Hatogaya Area

Hatogaya area, which is located in the center of Kawaguchi City, is formerly known as “Hatogaya City” until it was unitized with Kawaguchi City.

In 2001, when Saitama Railway started its operation, “Hatogaya Station” and “Minami-Hatogaya Station” were built along the line. Later, the line’s operation was connected to Tokyo Metro Namboku-Line and Tokyu-Toyoko Line, which allowed public transportation services much more residents-friendly. Accordingly, the population, which had been 56,000 at the time when SR Line opened, has increased to 65,000 in 2020, with the development of the area.

Have you ever heard of “*Nikko-Onarimich*” road? It is a specially laid pilgrimage route for successive *Shoguns* paying official visits to “*Nikko-Toshogu*”, a shrine sacred to the memory of *Tokugawa Ieyasu* of the *Edo* period. At that time, a post-town of Hatogaya, situated on the route, had been bustling with life. Now, in “*Onarizaka-Koen*” (Hatogaya Honcho) which used to have been the center of the post-town, you will find three-tiled pictures describing the scene of *Daimyo* (lord) Procession and a clock with revolving puppets. The clock has distinctive features with the figures on its face is written with *kanji* from 12 annual zodiac signs and puppets reenacting *Daimyo* Procession appearing with music at every fixed time of the day. There still remains a lot of buildings around the park that preserve vestiges of those old days.

Some minutes’ of walk from the clock, there is “Kawaguchi Municipal Cultural Asset Center Annex, Local History Museum”, where you can learn Kawaguchi’s history and culture, and Hatogaya-born great figures from its exhibition.

On the ground floor of Hatogaya Station, there is a space displaying special and noted products of Hatogaya area. One thing I would like you to see is bamboo-made “Japanese style fishing rod”, which is very unique to Japan. It is said that in the olden days, bamboos with excellent flexibility grew in the wild around the banks of the *Shiba-kawa* River. People began to make the best use of them and it has become the staple of the area in due course. As something of absolute novelty, you will see *Randoseru* school backpacks on display from a noted manufacturer whose head office and factory are in Hatogaya area and whose commercial films are often seen on TV.

Also, in Hatogaya area, there is a factory of a leading sauce manufacturing company, established in 1935. Therefore, sauce is always by the side of people in Hatogaya’s pleasure of eating. By getting down to that fact, “Hatogaya Sauce *Udon* stir-fry” was born in 2008. The idea of picking out Sauce *Udon* stir-fry as an item to “Revitalize” Hatogaya area came from the fact that Saitama Prefecture’s *Udon* production is always in the top rank in Japan, and the existence of a leading manufacturer’s factory in the area. Subsequently, Sauce *Udon* stir-fry was sent to Saitama’s B-class Gourmet Foods Championship, and interviewed by TV crew, etc., its name has gradually been recognized. Of course there is a lot of shops that serve good Sauce *Udon* stir-fry, you really should taste it once.

In a pleasant and balmy autumn weather, why do not you walk around fascinating Hatogaya area brimmed with historical and cultural heritages.



©Kawaguchi Municipal Cultural Asset Center Annex.
Local History Museum Homepage
<http://www.kawaguchi-bunkazai.jp/kyoudo/index.html>
©Hatogaya Association of Commerce and Industry Homepage
<http://hatogaya.or.jp>



New Government Building of Kawaguchi City

The project of rebuilding the 60-year-old antiquated government building had long been awaited. At last, in March 2020, as the first stage of the project, a new government office building has been completed (primal main building) (be referred to as “New Government Building”), and has started operation from May the same year. Today, I am going to show you this New Government Building, which is closely connected to our everyday life, includes the essential procedures of moving-in and moving-out notification.



<Calamity-resistant, Eco-friendly structure>

New Government Building employs various preventive measures against calamities. For instance, it adopts base-isolated structure to reduce earthquake vibrations. Also, in precaution against flood (specifically, risk of Arakawa-River overflow), pedestrian deck has been elevated to the same height as the 2nd floor of 5 meters aboveground, to serve as a disaster relief area even when 4 meters' inundation hit the area. Along with that, stairs situated here and there enable to take in evacuees fleeing from every direction.

As for environmental side, the building is equipped with a terrace built in tiers and hedges around the premises, just as the name of the city of garden plant production suggests. At the same time, they make the best use of natural energy. Greenery there provides air-cooling and natural awning effect, reflected sunlight from the balcony lightens up the interior and allows the installation of solar-power generation panels. An atrium named "Civic Cupola" is a symbol of New Government Building. It has been planned to collect as much sunlight as possible to lighten up inside, also ventilation is excellent due to its chimney effect provided by the specific structure. The atrium is paneled with glasses, so you can see paintings displayed on each floor through them.



<Wide range of services>

For the convenience of first-time visitors, there is an Information Desk right in front of the entrance. Also, the building is equipped with Ostomate-accessible restrooms (multipurpose WC), milk-feeding space, kids' space, studded guiding slabs, etc. In addition to this, Municipal office provides a webpage on which you can check the number-slip display and crowdedness at counters. It is fully aware of the convenience of users. On the 3rd floor, you will find the most frequently visit divisions of Civic, National Health Insurance, and National Pension. On each Thursday, interpreters of Chinese and Turkish sit in front of Civic Division. This is a service keeping non-Japanese speakers' needs fully in mind. When you have difficulty in making

procedures at City Office or find it hard to communicate in Japanese, they will be there for you. They also provide leaflets on garbage disposal or other daily life information written not only in Japanese but also in other languages.

In addition to usual administrative operations, various local-revitalization events are held at New Government Building. In the multipurpose space, "Shiyakusho-Marché", which sells farm products produced in the city, is held appx. once a month. In the entrance area on the 2nd floor, they display products in two showcases that were manufactured / processed / planned in Kawaguchi City. If you would like to know more about Kawaguchi City, why do not you find time to visit there?

Inquiry

Kawaguchi City Office

Address : 1-1, Aoki 2-chome, Kawaguchi City. 〒332-8601

Phone : 048-258-1110 (switchboard)

Open hours : 8:30 ~ 17:15 (closed on Saturday, Sunday, National holidays and New Year holidays)



A Volunteered Japanese language class in Kawaguchi City ~Nishikawaguchi Nihongo(Japanese) Hiroba~

TOMO×TOMO introduces a volunteered Japanese class in Kawaguchi City in each issue. Today, I am going to introduce you "Nishikawaguchi Nihongo Hiroba".



◇About the Class

"Nishikawaguchi Nihongo Hiroba" was opened on October 5th, 2013, by the name of Japanese class for foreign parents & children. Later, the class, which had started with two volunteers, changed its name to "Nishikawaguchi Nihongo Hiroba" to take in more learners not restricted to parents and children.

This class is held at *Yokosone* Kominkan, 15 minutes' walk from JR Keihin-Tohoku line Nishi-Kawaguchi Station, west Exit, on every Saturday from 11:00 to 12:30. Foreign residents of various ages and occupations are learning here. Daytime of a weekend, on which I visited, allows such learners as under-school-age kids, Technical Interns, and housewives to come. The most numerous are from China, others are comprised of from Thai, Ghana, Bangladesh, Viet-nam.

◇Ways and means to enjoy learning

This class employs various schemes to enjoy learning Japanese. Two times during lesson, at 11:00 starting time and 12:30 closing time, all attending learners and teaching staff will sit in a circle. It is time to learn simple phrases all together. They were learning how to play “Rock-Paper-Scissors (じゃんけん)” on the day I visited.

Learners are placed into three groups, under-school-age kids/beginners/intermediate and advanced, in accordance with each level to efficiently provide lessons that suit each need. As for materials, they use ones prepared by the staff, books for reference brought by learners, or books borrowed from adjacent public library. Some were teaching Japanese with the aid of whiteboard, some were eagerly noting them down, the class was lively and filled with energy.

They also have seasonal events and outdoor activities, too. Visit a planetarium, participate in *Tatara-Matsuri* festival as a dance troupe, learn how to play Japan’s traditional New Year season’s games, etc. and sometimes they pop out of a classroom to provide occasions of experiencing practical Japanese out there. Now, outdoor events have been cancelled due to COVID-19 situations, though they say they wish to resume carrying out these events as soon as the circumstance permits.



◇To become another place you belong to

At “Nishikawaguchi Nihongo Hiroba”, not only they teach Japanese, but also assist learners to acclimate to a new environment as well as think the situation together if one seeking for advice. Under the concept of “Create a place which can feel comfortable free from anxiety”, this class is moving forward by providing a place of coziness which makes learners to feel “want to go, and once I got there, I can feel happy”. If you are interested in this class, feel free to call on them.

Name of the Class: Nishikawaguchi Nihongo Hiroba(No.15 on Kawaguchi City volunteered Japanese classes)

Open hours: Every Saturday 11:00 ~12:30

Place: Yokosone Kominkan 10-16 Nakacho, Kawaguchi City

(Walk 15 minutes from JR Keihin-Tohoku line Nishi-Kawaguchi Station, West Exit)

Contact: 080-6547-1032 (Mr. Takagawa)



せかい ことば つか
世界の言葉を使ってみよう！

むずか ことば し かんたん ことば と がいこくじん こみゆにけーしょん
難しい言葉を知らなくても、簡単な言葉のやり取りから、外国人とコミュニケーションができます。

つか
ぜひ使ってみてください！

にほんご 日本語	はじ 初めまして	わたし 私は～です	しゅっしん ご出身はどちらですか？
えいご 英語	ないす とぅ みーと ゆう Nice to meet you.	あいあむ I am ~.	ふうえあ あー ゆう ふろむ Where are you from?
ちゅうごくご 中国語	ちう つじえんみえん 初次见面	うお じいお 我叫～	にんらいずなあり 您来自哪里？
べとなむご ベトナム語	しん チャオ Xin chào.	といらー Tôi là ...	くえ ばん おー だう Quê bạn ở đâu?
かんこくご 韓国語	まん な そ ぼんがうおよ 만나서 반가워요.	ちよぬん いむに だ 저는 ~ 입니다.	おでいえ そ おしよつそよ 어디에서 오셨어요?

あいて じょうきう おう つか
相手の状況に応じて使えと、よりよいですね！

川口市立的夜间中学

川口市立芝西中学阳春分校是于2019年4月开办的埼玉县唯一的夜间中学。之所以把学校命名为“阳春”，是因为学生们心中萌发的“想要学习”的种子就像在春天发芽的草木一样，希望我们的支援能够像春日温暖的阳光，照射在种子上，能够让它们绽放出美丽的花朵。

<学校概况>

夜间中学是为白天工作的学生设立的，上课时间在晚上，学生从下午4点到下午5点20分之间到校。一天有四节课，每节课40分钟。因为中途有用餐和休息时间，所以放学时间为晚上9点左右。

学习内容除了国语、社会、数学、理科、英语、音乐、美术、保健体育和技术家庭这些科目外，还有道德、综合和特别活动课程。另外，和全日制中学一样，也有包括体育运动会和合唱比赛等在内的许多活动。

原则上是从一年级学习至三年级，但根据学生的学习状况，也有从三年级开始入学的学生。毕业后就可以获得初中毕业证书。



<多样化的学生>

居住在埼玉县且15岁以上的人可以入学。在阳春分校有各种各样的学生，有因家庭原因无法上学的学生、因旷课而无法完成初中学习的学生和居住在日本的外国人学生。

我去采访时有43名学生在籍（一年级15名、二年级6名、三年级22名）。年龄层广大，从十几岁到60多岁不等，从川口市外来上学的学生也很多。不分年龄、住所或国籍等，为想上初中的人提供一起学习的场所，是夜间中学的一大特征。

大约三分之二的学生是外国国籍，国家多达10个，包括菲律宾、中国、巴基斯坦和巴西等国。需要进行日语学习的外籍学生，只有在一年级的时候可以把国语、社会、理科的学习时间换成日语学习。

也有为了进入日本高中而在此学习的外籍学生。一位巴基斯坦籍的三年级学生向我描述了她的梦想：毕业后想上高中，再去专科学校学习，成为一名美发师。

<课堂等的特征>

一节课的学生人数从几个到10个左右，所以老师可以很清楚地看到每个学生的样子。能根据学生的理解程度进行细致的指导，是夜间中学的一大优势。


阳春分校还有充分利用外籍学生多这一特征的举措。走廊的墙壁上贴着用各个国家的语言写的问候语，每周都会像“菲律宾周”“巴西周”这样按周决定国家。在上课前的晨会时，大家用该周所定国家的语言打招呼。

另外，也有十几岁的学生教年长的学生如何使用平板电脑，懂日语的外籍学生用母语教来自同一个国家的学生等大家互相帮助的情况，这也是夜间中学的一个特征。



<采访后的感想>

学生们不是“因为我必须去”而来学习，而是以“我想再读一次初中”，“我想学好日语和日本的初中知识，并考入高中”为目标。从自愿来学习这一点来看，我觉得夜间中学的学习是很有价值的。



川口市立芝西中学阳春分校
地址：川口市並木1-26-1
(最近的车站：JR京滨东北线西川口站东口徒步约14分钟)
※预定在2024年迁校到JR京滨东北线蕨站附近
电话：048-497-1893



关注！鸠谷地区的历史和文化

鸠谷地区位于川口市的正中央。在2011年与川口市合并之前，这个地区为“鸠谷市”。

2001年埼玉高速铁路开通，在鸠谷地区建立了“鸠谷站”和“南鸠谷站”。这条铁路线还与东京地下铁南北线、东急目黑线直通运行，使交通变得格外方便。随之，在铁路线开通时大约为56000人的人口，到2020年时增加到了65000人左右，鸠谷地区也得到了发展。



大家知道日光御成道吗？日光御成道是江户时代历代将军前往供奉着德川家康的日光东照宫参拜时用的特别道路，途中的鸠谷宿（驿站）也非常繁荣。御成坂公园（鸠谷本町）是这个驿站小镇的中心，那里有三幅描绘大名（日本古时封建领主称号）带着队伍出行的瓷砖画和一台机关时钟。这台时钟十分独特，它的表盘用干支的十二个汉字来表示，每到指定时间时，象征着大名带着队伍出行的人偶就会伴随着音乐出现。公园周围还保留着许多能让人感受到当时的风土人情的建筑物。

从机关时钟处出发步行几分钟，就到了“川口市立文化遗产中心分馆 乡土资料馆”，这里展示着与川口市的历史和文化，以及出身于鸠谷地区的伟人等相关的资料。

在鸠谷站的一楼，有一个鸠谷地区的特产、名产的展示角。那里的展品中有“和竿”，一种日本特有的竹制钓鱼竿。据说过去在芝川的周边等地方可以采伐到弹性好、适合于做钓鱼竿的竹子，因此发展成了地方产业。出乎意料的是，那里还展示着一家书包制造商生产的日本小学生的书包“RANDOSERU”，其总公司和工厂都位于鸠谷地区，在广告中也能看到。

另外，从1935年开始，鸠谷地区就有一个大型酱汁(沙司)制造商的工厂，酱汁在当地人的饮食生活中是一种非常熟悉的调味料。将该酱汁发挥至极的、当地美食“鸠谷酱烧乌冬面”于2008年诞生。酱烧乌冬面之所以被当选为鸠谷地区“城镇振兴”的一个创意构思，是因为埼玉县的乌冬面生产量位居全国前列，并在鸠谷地区有一个大型酱汁制造商的工厂。后来，这道料理参加了埼玉B级当地美食王锦标赛，并接受了电视台的采访等，逐渐变得众所周知。也有一些餐馆提供美味的酱烧乌冬面，请大家一定要品尝一次。

在秋天晴朗凉爽的天气中，让我们去看看具有历史和文化气息，充满魅力的鸠谷地区吧。



◎川口市文化遗产中心分馆 乡土资料馆主页
<http://www.kawaguchi-bunkazai.jp/kyoudo/index.html>
 ◎鸠谷工商会主页
<https://hatogaya.or.jp>



川口市的新政府办公大楼



以前的政府办公大楼已经有60多年的历史，大家一直期待能够予以重建。2020年3月，新政府办公大楼第一期（第一本厅舍）（以下称为新政府办公大楼）竣工，从5月开始在新政府办公大楼开展业务正式运营。在此，为大家介绍一下这个能够办理包括迁入和迁出手续等与日常生活相关业务的新政府办公大楼。

<既抗灾又环保的建筑>

新政府办公大楼为了应对自然灾害进行了各种各样的创新。例如，为了减少地震时的摇晃而采用了免震结构。为了在发生水灾时（由于荒川存在泛滥的风险）能够对应4米高的洪水，设置了一个高5米，与二层楼相同高度的“人行平台”，起到防灾广场的作用。此外，还设置了多个楼梯，以接受来自各个方向的避难人员。

在环保方面，采用了露台花坛和室外栽植，使新政府办公大楼也成为川口这个园艺之乡的象征。利用自然能源，以绿化来阻隔外部热气和遮阳，利用阳台的反射光导入间接光源，同时也设置了利用太阳光发电的光伏板。此外，被称为“Civic Cupola”的中庭空间，是新政府办公大楼的标志。该中庭空间在积极导入自然光的同时，利用天井的烟囱效应，具有更好的通风效果。整个中庭空间用玻璃进行装饰，并且在这样的结构中能够欣赏到装饰在每一楼层的画作。





<方便大家的服务>

为了使第一次来的人也能知道该去哪里办理手续，在入口的正面设置了一个综合咨询台。此外，还配备了能够对应特殊病患需求的带有盥洗功能的厕所（多功能公共厕所），哺乳室，儿童空间，盲道等设施。并且，通过市政府的官方主页，可以实时查看服务窗口排队叫号的情况，从细节上为大家提供便利。3楼有市民课、国民健康保险课、国民年金课等这些日常生活中经常需要涉及的科室。每周四，在市民课前有中文和土耳其语的翻译人员为大家提供服务。这是为照顾那些不能熟练运用日语的外国人而提供的服务。如果遇到不明白需要在市政府办理的手续或者用日语对话有困难等情况，无需提前预约可随时咨询。另外，对于日常生活中例如垃圾处理规则等所需了解的信息，准备了日语以及其他多种语言版本的资料。

新政府办公大楼在开展日常业务的同时，也会举办各种各样的活动，以展现川口的魅力。每个月1次，在一楼的多功能空间举行“市役所Marché”的活动，出售在市内生产的农产品等。另外，在二楼的入口处陈列了2个展示柜，展示了在市内生产、加工和规划的产品。如果您想进一步解川口市，不妨去新的市政府办公大楼走走看看吧。



咨询处

川口市政府

地址：〒332-8601 川口市青木2-1-1

电话：048-258-1110（主机）

电话受理时间：上午8：30～下午5：15（周六周日、节假日、年末年初除外）



川口市志愿者日语教室的介绍 ～西川口日语广场～

我们在TOMO×TOMO向大家介绍开办在川口市的志愿者日语教室。这一期将介绍“西川口日语广场”。

◇教室的情况

“西川口日语广场”于2013年10月5日开始举办，取名为“面向外国人亲子的日语教室”。教室开始举办时只有两名志愿者，后来为了也接受亲子以外的外国人来学习，改名为“西川口日语广场”。

教室于每周六上午11点至下午12点半，在位于JR京滨东北线西川口站西口步行15分钟的横曾根公民馆内举办。学员们的年龄和职业各不相同。也是因为是在休息日的白天举办，采访当天来参加的有小学生以下的年幼小孩、技能实习生和家庭主妇等。来自中国的人最多，其他还有泰国人、加纳人、孟加拉人和越南人。



◇在有趣地学日语上下功夫

这个日语教室为了让大家可以有趣地学习日语下了很多功夫。学员们和志愿者们在学习开始的11点和学习结束时的12点半时两次集合在一起围成一个圈，然后大家一起学习简单的日语。采访当天，大家用日语练习玩石头剪刀布的游戏。

通常的学习内容分为三个阶段：到小学生为止的儿童组、初级组和中高级组，因此学员们可以根据自己的水平选择适合自己的学习。学习用的教材有的是由志愿者准备的，有的是由学员带来的参考书等，还有的是从附属图书馆借来的。笔者看到了志愿者用白板教日语，而学员们则积极地在笔记本上写下他们所学到的知识的场景。整个教室气氛活跃，充满了活力。

另外，这个教室还组织季节性的活动和课外活动。去参观天象厅，作为舞者参加TATARA祭，学习日本正月游戏的玩法，开展教室外的日语学习。目前，这些课外活动因新冠病毒的状况受到了限制，但在局势好转后将会重新开始。



◇成为另一个“容身之处”

“西川口日语广场”不仅教授日语，还为了让学员们能尽快地适应日本的生活而提供支援，并就他们在日常生活中遇到的苦恼事情提供咨询。现在，这个教室基于“创造一个安全和放松的、心灵可以栖息的地方”的理念在继续运营中，并提供一个让学员们感到“想去，去了就有乐趣”的舒适空间。如果您有兴趣，随时都可以前往教室参观。

教室名称：西川口日语广场（川口市志愿者日语教室一览表No. 15）

活动时间：每周六上午11点～下午12点半

地点：横曾根公民馆 川口市仲町10-16（从JR京滨东北线西川口站西口步行15分钟）

联系方式：080-6547-1032（高川先生）

Trường trung học cơ sở chính quy buổi tối thành phố Kawaguchi

Trường chi nhánh Yoshun của Trường trung học cơ sở Shibunishi thành phố Kawaguchi là trường trung học cơ sở buổi tối duy nhất ở tỉnh Saitama được khai giảng vào tháng 4 năm 2019. Tên hiệu “Yoshun” mang hàm ý ánh mặt trời dịu dàng, ấm áp nâng đỡ tinh thần “ham học hỏi” của các em học sinh, như những cây non mùa xuân đâm chồi nảy lộc, bùng nở thành những đóa hoa rực rỡ.

<Sơ lược về trường>

Trường trung học cơ sở buổi tối dành cho những học sinh làm việc vào ban ngày, các lớp học được tổ chức vào buổi tối, học sinh đến trường vào khoảng từ 4h đến 5h20 chiều. Mỗi buổi học có 4 tiết, mỗi tiết học kéo dài 40 phút. Giữa buổi học có giờ nghỉ ngơi ăn uống, nên trường học sẽ kết thúc vào lúc 9h tối.

Nội dung học tập ngoài các môn học bao gồm như ngữ văn, xã hội, toán học, khoa học tự nhiên, tiếng Anh, âm nhạc, giáo dục thể chất, giáo dục kỹ thuật tại nhà, còn có lớp học về đạo đức, giờ học tổng hợp, và các hoạt động đặc biệt. Bên cạnh đó còn có nhiều sự kiện như đại hội thể thao, cuộc thi hát đồng ca như là trường trung học cơ sở ban ngày.

Về cơ bản, học sinh nhập học năm nhất và học trong 3 năm. Tuy nhiên, tùy theo tình hình học viên, cũng có người vào học từ năm 3. Sau khi tốt nghiệp học sinh được cấp chứng chỉ tốt nghiệp trung học cơ sở.



<Học viên đa dạng>

Những ai từ 15 tuổi trở lên đang sinh sống tại tỉnh Saitama có thể đăng ký học. Học sinh của trường là những người vì hoàn cảnh gia đình không thể đến trường, người đã từng bỏ học không thể theo học trung học cơ sở, hay người nước ngoài đang sinh sống tại Nhật, v.v.

Tại thời điểm phỏng vấn đã có 43 học viên đăng ký ghi danh (năm nhất có 15 người, năm hai 6 người, và năm ba 22 người). Độ tuổi theo học dần trải từ 10 tuổi đến cả người trong độ tuổi 60, cũng có nhiều người ngoài thành phố Kawaguchi đến. Đặc điểm lớn của trường trung học cơ sở buổi tối là những người muốn học trung học cơ sở có thể học cùng nhau bất kể tuổi tác, nơi cư trú, hay quốc tịch, v.v.

Khoảng 2/3 trên tổng số học viên mang quốc tịch nước ngoài, lên đến 10 quốc gia mà phần đông trong số đó là Philippines, Trung Quốc, Pakistan và Brazil. Học viên người nước ngoài muốn học tiếng Nhật có thể thay đổi các môn ngữ văn, xã hội, khoa học tự nhiên thành môn tiếng Nhật trong năm đầu tiên.

Cũng có những học viên người nước ngoài theo học vì muốn vào trường trung học phổ thông của Nhật. Học viên năm 3 người Pakistan chia sẻ ước mơ sau khi tốt nghiệp sẽ vào trường trung học phổ thông, và học tiếp lên trung cấp nghề để trở thành thợ làm tóc.



<Đặc điểm lớp học>

Số học viên trong một lớp khoảng 10 người, nên giáo viên có thể theo sát tình hình của mỗi học sinh. Điểm nổi bật của trường trung học cơ sở buổi tối là sự hướng dẫn tận tình ứng với mức độ hiểu biết của từng học viên.

Tận dụng đặc điểm trường có nhiều học sinh người nước ngoài. Chúng tôi đưa ra sáng kiến dán các câu chào hỏi bằng ngôn ngữ của các quốc gia khác nhau, mỗi tuần sẽ chọn ra “tuần lễ Phillipines”, “tuần lễ Brazil” để chào hỏi bằng ngôn ngữ của quốc gia đó tại phòng hội trường trước khi bắt đầu giờ học.

Ngoài ra, trường trung học cơ sở buổi tối còn có đặc điểm các học viên tương trợ lẫn nhau như là các em học sinh ở lứa 10 tuổi được các học sinh lớn hơn dạy cách sử dụng máy tính bảng, học sinh người nước ngoài hiểu rõ tiếng Nhật sẽ chỉ lại cho những học sinh của nước mình bằng chính ngôn ngữ mẹ đẻ của họ.

<Cảm tưởng sau phỏng vấn>

Các bạn học sinh không phải vì “tôi phải đi học” mà có những mục tiêu như “tôi muốn học lại trường trung học cơ sở”, “tôi muốn học tiếng Nhật, học trung học cơ sở của Nhật, để vào trung học phổ thông”. Tôi cảm thấy rằng việc học tại trường trung học cơ sở buổi tối có giá trị ở chỗ tôi tự giác đến trường.

Trường trung học cơ sở Shibunishi Yoshun thành phố Kawaguchi

Địa chỉ: thành phố Kawaguchi, Namiki 1-26-1

(Ga gần nhất: từ lối ra phía Đông của ga Nishi-Kawaguchi tuyến JR Keihin Tohoku đi bộ khoảng 14 phút)

※Dự kiến chuyển địa điểm đến gần ga Warabi trên tuyến JR Keihin Tohoku vào năm 2024

Điện thoại: 048-497-1893

Đặc sắc! Văn hoá và lịch sử quận Hatogaya

Quận Hatogaya nằm giữa trung tâm thành phố Kawaguchi, từng là thị trấn Hatogaya trước khi sáp nhập vào thành phố Kawaguchi năm 2011.

Năm 2001, khi tuyến đường sắt cao tốc Saitama thông hành, nhà ga Hatogaya và Minami Hatogaya cũng hoàn tất xây dựng đưa vào hoạt động tại quận Hatogaya. Tuyến này được vận hành cùng với tuyến Tokyo Metro Nambu và Tokyu Meguro giúp giao thông trở nên thuận tiện hơn rất nhiều. Cùng với đó, khi tuyến đường sắt thông hành, dân số ước tính vào khoảng 56,000 người, tăng lên đến 65,000 người tại thời điểm năm 2020 và vẫn đang tiếp tục phát triển.



Các bạn đã từng nghe qua tên con đường Nikko Onarimichi chưa? Thời kỳ Edo, Nikko Onarimichi là con đường đặc biệt mà các tướng quân kể vị thường đi qua khi đến thăm đền Nikko Toshogu, nơi thờ vị tướng quân Tokugawa Ieyasu, thị trấn Hatogaya thời bấy giờ nằm trên con đường này rất tấp nập và phồn vinh. Công viên Onarizaka (Hatogaya Honmachi), nơi từng là trung tâm vùng chuyển tiếp có lưu lại 3 bức tranh trên gạch bích miêu tả cuộc diễu hành của các lãnh chúa Daimyo, và chiếc đồng hồ thả lính Karakuri. Sự đặc biệt của chiếc đồng hồ này là mặt số thể hiện ký tự chữ Hán 12 con giáp, khi đồng hồ được kích hoạt, âm thanh vang lên cùng lúc đó 1 con rối xuất hiện liên tưởng hình ảnh cuộc diễu hành của lãnh chúa Daimyo. Khu vực xung quanh, còn bảo tồn nhiều toà nhà xưa nơi bạn có thể cảm nhận bầu không khí thời bấy giờ.

Cách chiếc đồng hồ Karakuri khoảng vài phút đi bộ là “Bảo tàng tư liệu địa phương, trung tâm tài sản văn hoá thành phố Kawaguchi” nơi trưng bày lịch sử văn hoá thành phố Kawaguchi và các nhân vật vĩ đại xuất thân từ Hatogaya

Tầng 1 nhà ga Hatogaya có quầy trưng bày các sản phẩm nổi tiếng, đặc sản của quận Hatogaya. Chiếc cần câu cá “Wazao” được chế tác từ cây tre độc đáo ở Nhật. Ngày xưa, người ta thường lấy tre khu vực xung quanh sông Shibakawa vì cây tre có độ đàn hồi thích hợp làm cần câu cá, và từ đó trở thành một ngành công nghiệp tại địa phương. Đáng ngạc nhiên là chiếc cặp chống gù lưng Randoseru thường thấy trên quảng cáo của một nhà sản xuất cặp chống gù lưng Randoseru có nhà xưởng và trụ sở chính tại Hatogaya cũng được trưng bày tại đây.



Quận Hatogaya còn có nhà máy sản xuất nước chấm lớn thành lập từ năm 1935, loại nước sốt quen thuộc trong bữa ăn hàng ngày rất được ưa chuộng bởi người dân địa phương. Chính sự đặc biệt này, món ăn địa phương nổi tiếng “mì Udon xào sốt Hatogaya” ra đời vào năm 2008. Lý do món mì Udon xào được lựa chọn làm ý tưởng Hatogaya “thị trấn hồi sinh” là vì có nhà máy của nhà sản xuất nước sốt lớn nằm trong quận Hatogaya, sản lượng mì Udon của tỉnh Saitama đạt thứ hạng cao trong những nhà sản xuất mì Udon hàng đầu tại Nhật. Món ăn sau đó đã dự vòng chung kết cuộc thi vua món ăn đặc sắc của vùng, đạt hạng B tại Saitama, được phỏng vấn trên TV, và dần được biết đến nhiều hơn. Có nhiều nhà hàng phục vụ món mì Udon xào với nước sốt hảo hạng, nhất định bạn hãy đến để thưởng thức một lần nhé.

Trong tiết trời thu trong xanh dịu mát, bạn có muốn thử dạo quanh quận Hatogaya đầy hấp dẫn bởi nét văn hóa và lịch sử?

- ◎ Trang chủ Bảo tàng tư liệu địa phương, trung tâm tài sản văn hoá thành phố Kawaguchi
<http://www.kawaguchi-bunkazai.jp/kyoudo/index.html>
- ◎ Trang chủ phòng thương mại và công nghiệp Hatogaya
<https://hatogaya.or.jp>



Tòa nhà hành chính mới thành phố Kawaguchi

Tòa nhà hành chính kể từ khi xây dựng trải qua hơn 60 năm đến nay, việc xây dựng mới luôn được mọi người mong chờ. Vào tháng 03 năm 2020, quá trình xây dựng giai đoạn 1 của tòa nhà hành chính mới (dưới đây gọi là tòa nhà hành chính số 1) đã hoàn thành, mọi hoạt động tại tòa nhà hành chính mới bắt đầu từ tháng 5. Chúng tôi sẽ giới thiệu về tòa nhà hành chính mới nơi tiến hành các thủ tục liên quan đến cuộc sống hằng ngày như thủ tục chuyển đến, thủ tục dọn ra.

<Tòa nhà thân thiện với môi trường, kiên cường trước thảm họa>

Tòa nhà hành chính mới được thiết kế bằng nhiều kỹ thuật đặc biệt để đối phó với các thảm họa thiên nhiên. Ví dụ như kết cấu móng chống rung giúp giảm độ rung lắc do động đất. Ngoài ra, còn có “đường đi bộ trên cao” cao 5m, tương đương với chiều cao của tầng 2, đóng vai trò như một quảng trường phòng chống thiên tai đối sách chuẩn bị cho mực nước dâng cao đến 4m khi lũ lụt (nguy cơ lũ lụt do nước sông Arakawa tràn bờ). Nhiều cầu thang được lắp đặt để tiếp nhận người sơ tán từ các nơi khác đến.



Chú trọng đến vấn đề môi trường, sân thượng của tòa nhà có cấu trúc bậc thang, ngoại thất trồng cây xanh tượng trưng cho Kawaguchi, thành phố của những cây xanh. Sử dụng nguồn năng lượng tự nhiên từ các tấm pin năng lượng mặt trời, tận dụng cây xanh để tránh nắng, làm mát không khí ngoài trời, lấy ánh sáng gián tiếp từ sự phản chiếu ánh sáng bên ngoài ban công.

Không gian mở “Civic Cupola” đã trở thành biểu tượng của tòa nhà hành chính mới. Hiệu ứng ống khói giếng trời giúp gia tăng hiệu quả thông gió, góp phần tích cực đưa ánh sáng tự nhiên vào tòa nhà. Phần không gian giếng trời này được bao phủ bởi kính được thiết kế để có thể nhìn thấy các bức tranh trưng bày tại các tầng.

<Dịch vụ dễ sử dụng cho tất cả mọi người>

Bảng hướng dẫn tổng hợp đặt tại lối vào để ngay cả người mới đến lần đầu cũng có thể dễ dàng hiểu được. Toà nhà có bố trí khu dành cho trẻ em, phòng cho trẻ bú, lắp đặt bê mặt chữ nổi dành cho người khiếm thị, nhà vệ sinh đáp ứng được cho người đeo túi hậu môn nhân tạo (nhà vệ sinh đa chức năng). Hơn thế nữa, nhằm chú trọng những chi tiết tiện ích cho người sử dụng, trang chủ của thành phố có trang thông tin để bạn kiểm tra tình trạng, thứ tự tại quầy tiếp nhận. Tầng 3 là nơi tiếp nhận các dịch vụ liên quan đến cuộc sống hằng ngày gồm có phòng Công dân, phòng Bảo hiểm sức khoẻ quốc dân, phòng Bảo hiểm lương hưu. Ngoài ra, phòng Công dân có thông dịch viên tiếng Trung Quốc và tiếng Thổ Nhĩ Kỳ vào thứ năm hàng tuần. Đây chính là sự quan tâm đặc biệt dành cho người nước ngoài chưa hiểu rõ tiếng Nhật. Khi gặp các vấn đề như không hiểu thủ tục tại toà hành chính, khó khăn trong giao tiếp bằng tiếng Nhật, bạn có thể thảo luận mà không cần đặt hẹn trước. Các tài liệu hướng dẫn cần thiết cho cuộc sống hằng ngày như quy định vứt rác, không chỉ được viết bằng tiếng Nhật mà còn có cả các ngôn ngữ khác.



Trong toà nhà hành chính mới chúng tôi không chỉ tiến hành các thủ tục liên quan cuộc sống hằng ngày mà còn tổ chức các sự kiện khác nhau để lan toà sức hấp dẫn của thành phố Kawaguchi. Mỗi tháng 1 lần “Hội chợ thành phố” được tổ chức trong không gian đa năng ở tầng 1, bày bán các sản phẩm nông nghiệp được sản xuất trong thành phố. Ngoài ra, hai gian hàng đặt tại lối vào tầng 2 trưng bày các sản phẩm được chế tác, gia công, hoạch định trong thành phố. Để hiểu rõ hơn về thành phố Kawaguchi, nhất định bạn hãy ghé thăm toà nhà hành chính mới nhé.

Thông tin liên hệ

Tòa hành chính thành phố Kawaguchi

Địa chỉ: 〒332-8601, thành phố Kawaguchi, Aoki 2-1-1

Điện thoại: 048-258-1110 (đại diện)

Thời gian tiếp nhận điện thoại: từ 8h30 đến 17h15 (trừ thứ 7, chủ nhật, ngày lễ, ngày nghỉ đầu năm và cuối năm)



Gới thiệu lớp học tiếng Nhật tình nguyện tại thành phố Kawaguchi ~Câu lạc bộ tiếng Nhật Nishikawaguchi~

TOMO×TOMO xin được giới thiệu về các lớp học tiếng Nhật tình nguyện tại thành phố Kawaguchi. Kỳ này chúng tôi sẽ giới thiệu về “Câu lạc bộ tiếng Nhật tại Nishikawaguchi”.

◇ Hình thức lớp học

“Câu lạc bộ tiếng Nhật Nishikawaguchi” bắt đầu từ ngày 05 tháng 10 năm 2013 với hình thức “Lớp học tiếng Nhật dành cho phụ huynh và trẻ em người nước ngoài”. Lớp học ban đầu chỉ có 2 tình nguyện viên, sau đó đã đổi tên thành “Câu lạc bộ tiếng Nhật Nishikawaguchi” tiếp nhận tất cả người nước ngoài không chỉ phụ huynh và trẻ em.

Các lớp học được tổ chức vào sáng thứ 7 hàng tuần từ 11h đến 12h30 tại nhà văn hóa Yokozone cách lối ra phía Tây của ga Nishikawaguchi tuyến JR Keihin Tohoku khoảng 15 phút đi bộ. Người học ở nhiều lứa tuổi và nghề nghiệp khác nhau. Hôm phỏng vấn vào buổi trưa của ngày nghỉ nên người tham gia gồm có các em học sinh ở lứa tuổi tiểu học trở xuống, thực tập sinh kỹ năng, và một số bà nội trợ. Hầu hết những người tham gia là người Trung Quốc, ngoài ra còn có người Thái Lan, Ghana, Bangladesh và Việt Nam.

◇ Chú trọng học tiếng Nhật một cách thú vị

Lớp học tiếng Nhật được thiết kế công phu để việc học tiếng Nhật luôn trở nên thú vị. Các học sinh và tình nguyện viên sẽ tập trung thành vòng tròn 2 lần đó là khi lớp học bắt đầu vào 11h và khi kết thúc lúc 12h30. Và rồi mọi người bắt đầu học những câu tiếng Nhật đơn giản. Ngày phỏng vấn là hôm mọi người luyện tập trò chơi oản tù tì bằng tiếng Nhật.

Nội dung học thường được chia thành 3 cấp độ: nhóm trẻ em trong độ tuổi tiểu học, nhóm sơ cấp, và nhóm trung cấp cao cấp, nên học viên có thể học tùy theo mỗi trình độ.

Tài liệu học tập là giáo trình do các tình nguyện viên chuẩn bị, sách tham khảo do học viên đem tới hay được mượn từ thư viện. Hình ảnh tình nguyện viên sử dụng bảng trắng để giảng dạy tiếng Nhật, các học viên hằng hái ghi lại vào vở những gì học được khiến không khí toàn bộ lớp học trở nên sôi động và náo nhiệt.

Ngoài ra, câu lạc bộ còn có tổ chức các sự kiện và hoạt động ngoại khóa theo mùa. Tổ chức học tiếng Nhật ở bên ngoài lớp học như tham quan cung thiên văn, nhảy múa trong lễ hội Tataro, học các trò chơi năm mới của Nhật. Hoạt động ngoại khóa bị hạn chế do tình hình Corona, nhưng câu lạc bộ dự kiến sẽ tổ chức hoạt động trở lại tùy theo tình hình.

◇ Như có thêm một ngôi nhà

“Câu lạc bộ tiếng Nhật Nishikawaguchi” không chỉ là nơi giảng dạy tiếng Nhật, mà còn là nơi hỗ trợ người học nhanh chóng làm quen với cuộc sống tại Nhật, nơi thảo luận khi gặp các vấn đề khó khăn. Với ý tưởng “tạo ra một nơi an toàn, thư giãn”, câu lạc bộ vận hành lớp học để đem đến không gian thoải mái “muốn đến, đến để vui học” cho người học. Nếu các bạn quan tâm, xin vui lòng hãy ghé thăm lớp học của câu lạc bộ.



Tên lớp học: Câu lạc bộ tiếng Nhật Nishikawaguchi (danh sách các lớp học tiếng Nhật tình nguyện số 15)

Ngày giờ hoạt động: thứ bảy hàng tuần từ 11h đến 12h30

Địa điểm: Nhà văn hóa Yokozone thành phố Kawaguchi, Nakacho 10-16

(cách lối ra phía Tây của ga Nishikawaguchi tuyến JR Keihin Tohoku khoảng 15 phút đi bộ)

Liên hệ: 080-6547-1032 (Ông. Takagawa)

가와구치시립 야간중학교

가와구치시립 시바니시중학교 요순(양춘)분교는 2019년 4월에 개교한 사이타마현에서 유일한 야간중학교입니다. 봄, 초목이 움트는 것처럼 학생들의 마음에 싹튼 ‘배우고 싶다’는 마음을 햇살처럼 부드럽고 따뜻하게 비추고 지원하면서 커다란 꽃으로서 피어날 수 있도록 “요순(양춘)”이라는 이름을 붙였습니다.

<학교 개요>

야간중학교는 낮에 일하고 있는 학생을 위해서 수업은 밤에 있고, 학생은 오후4시부터 오후 5시 20분 사이에 등교합니다. 하루에 4교시 수업이 있고 각 수업은 40분 간입니다. 중간에 식사 휴식도 있어서 하교는 오후 9시경입니다.

학습내용은 국어, 사회, 수학, 과학, 영어, 음악, 미술, 보건체육, 기술가정 교과 이외에 도덕, 종합, 특활 수업도 있습니다. 또 일반 중학교와 같이 체육제와 합창대회를 비롯하여 많은 행사가 있습니다.

기본적으로 1학년에 입학하여 3년동안 공부하지만 학생들의 학습상황에 따라서 3학년부터 입학하는 학생도 있습니다. 졸업하면 중학교 졸업자격을 얻을 수 있습니다.

<다양한 학생>

입학할 수 있는 사람은 사이타마현에 살고 있는 15세 이상인 분입니다. 가정 사정으로 학교에 갈 수 없었던 분이나 학교에 등교하지 않아서 충분히 중학교 공부를 할 수 없었던 분, 일본에서 사는 외국인 등, 다양한 학생이 있습니다.

취재할 때에는 43명의 학생이 재적하고 있었습니다 (1학년 15명, 2학년 6명, 3학년 22명). 연령대는 10대에서 60대까지 폭이 넓고, 가와구치 시외에서도 많이 다니고 있습니다. 연령과 거주지, 국적 등과 구별없이 중학교 공부를 하고 싶은 분이 함께 공부할 수 있는 장소라는 것이 야간중학교의 큰 특징입니다.

전학생의 약 3분의 2가 외국 국적으로 국가 수는 필리핀, 중국, 파키스탄, 브라질 등 10개국이나 됩니다. 일본어 학습이 필요한 외국 국적의 학생은 1학년 때만 국어, 사회, 과학 시간을 일본어 학습으로 대체할 수 있습니다.

일본 고등학교에 들어가기 위해 공부하고 있는 외국 국적 학생도 있습니다. 3학년 파키스탄 학생은 졸업한 후에는 고등학교에 진학하고, 더욱더 전문학교에서 공부하여 미용사가 되고 싶다는 꿈을 이야기해 주었습니다.



<수업 등의 특징>

한 과목 수업의 학생 수는 수 명에서 10명 정도이므로, 선생님이 학생 한사람 한사람의 모습을 잘 볼 수 있습니다. 학생의 이해도에 맞게 세심한 지도를 할 수 있다는 것이 야간중학교의 좋은 점입니다.

외국 국적의 학생이 많다는 특징을 살린 것도 있습니다. 복도 벽에는 다양한 나라의 말로 써 있는 인사가 붙어 있어, 주마다 ‘필리핀 주’ ‘브라질 주’와 같이 나라를 정해서 수업이 시작하기 전 조례시간에 그 주의 나라의 말로 인사를 하고 있습니다.

또한, 10대의 학생이 나이가 많은 학생에게 태블릿 사용방법을 가르쳐 주거나 일본어를 잘 모르는 외국 국적의 학생이 모국어로 같은 나라의 학생을 가르쳐 주는 등 서로 도와주는 것도 야간 중학교의 특징입니다.



<취재 후의 감상>

학생들은 ‘가지 않으면 안 되는 것’이 아니라 ‘다시 한번 중학교 공부를 하고 싶다’ ‘일본어와 일반 중학교의 공부를 하여, 고등학교에 들어가고 싶다’ 등 목표가 있습니다. 자신의 의지로 배우러 온다는 점에서 야간 중학교의 공부는 가치가 있다고 느꼈습니다.

가와구치시립 시바니시중학교 요순분교

주소 : 가와구치시 나미키 1-26-1

(가장 가까운 역: JR게이힌토호쿠선 니시카와구치역 동쪽출구에서 도보 약 14분)

※2024년에 JR게이힌토호쿠선 와라비역 근처로 이전 예정

전화 : 048-497-1893

주목! 하토가야 지구 역사와 문화

가와구치시의 한 가운데에 위치한 하토가야 지구. 2011년에 가와구치시와 합병할 때까지는 ‘하토가야시’였습니다.

2001년 사이타마고속철도가 개통되자 하토가야 지구에 ‘하토가야 역’과 ‘미나미하토가야 역’이 생겼습니다. 이 노선은 도쿄 지하철 난보쿠선과 나중 에 도쿄 급행전철 메구로선과도 직통으로 운행하게 되어 교통편이 현저하게 좋아졌습니다. 그에 따라 철도 개통 당시에는 약 56,000 명이었던 인구가 2020년 시점에서 약 65,000 명으로 증가하여 발전하고 있습니다.

여러분 닛코 오나리미치를 알고 있습니까? 닛코 오나리미치는 에도시대 도쿠가와 이에야스가 모셔져 있는 닛코 동조궁에 역대 장군이 참배하러 가기 위한 특별한 길로, 그 길 도중에 있는 하토가야숙소는 매우 번영했습니다. 숙소 중심지였던 오나리자카공원(하토가야 혼초)에는 대명행렬이 그려져 있는 3장의 타일 그림과 리듬시계가 있습니다. 글자판은 간지의 한자 12자로 표시되어 작동시간이 되면 대명행렬을 형상화한 인형이 나타나고 음악이 흐르는 매우 독특한 시계입니다. 주변에는 당시의 풍조가 느껴지는 건물도 많이 남아 있습니다.



리듬시계에서 몇 분 걸어가면 ‘가와구치시립 문화재센터 분관 향토자료관’이 있어, 가와구치시의 문화와 역사, 또한 하토가야 지구 출신 위인 등에 대해서도 전시되어 있습니다.

하토가야역 1층에는 하토가야 지구의 특산물·명산품 전시코너가 있습니다. 거기에 있는 것은 일본 고유의 대나무로 만든 낚시대, ‘화대’입니다. 옛날에는 시바카와(강) 주변 등에서 탄력이 있는 낚시대에 적합한 대나무를 구할 수 있어서, 거기서부터 지역 산업이 되었다고 합니다. 의외인 점은 하토가야 지구에 본사와 공장이 있어 광고에서도 볼 수 있는 란도셀 메이커의 란도셀도 전시되어 있습니다.



또한, 하토가야 지구에는 1935년부터 대형 소스 메이커의 공장이 있어, 소스는 지역사람들의 식생활에 매우 친숙합니다. 그 극치인 현지 음식 ‘하토가야 소스야끼우동(소스볶음우동)’은 2008년에 탄생했습니다. 하토가야 지구의 ‘지역 활성화’의 아이디어로써 소스야끼우동이 뽑힌 것은 사이타마현의 우동 생산량이 전국 상위이고 하토가야 지구에 대형 소스 메이커 공장이 있어서입니다. 그 후, 사이타마 B급 현지 음식왕 결정전에 출품되거나 텔레비전 취재를 받는 등, 점점 알려지게 되었습니다. 맛있는 소스야끼우동을 먹을 수 있는 음식점도 있으므로 꼭 한번 드셔보세요.

맑고 상쾌한 가을 날씨에 역사와 문화가 있는 매력적인 하토가야 지구를 돌아보시지 않겠습니까?

- ◎가와구치시립 문화재센터 분관 향토자료관 홈페이지
<http://www.kawaguchi-bunkazai.jp/kyoudo/index.html>
- ◎하토가야 상공회 홈페이지
<https://hatogaya.or.jp>

한국어



가와구치시 신청사

지금까지 본청사는 건설해서 60년이상이 경과되어 재건축을 기다리고 있었지만, 2020년 3월에 신청사 1기동(제1본청사)(이하, 신청사라고 함)이 완성되어, 5월부터 신청사에서 업무가 시작되었습니다. 전입과 전출 수속을 비롯해 생활에 밀접한 관계가 있는 신청사에 대해서 소개합니다.

<재해에 강한 친환경 건물>

신청사에는 자연재해에 대비하여 다양한 노력이 기울여 있습니다. 예를 들면, 지진이 일어났을 때 덜 흔들리게 하는 면진구조로 되어 있습니다. 또한, 수해(아라카와 강 범람 위험)에 대비하여 침수 높이 4m에 대응할 수 있는 높이 5m로 방재광장의 역할을 하는[페데스트리언 덕(보행자 통로)]가 있는데, 이것은 2층 바닥과 같은 높이입니다. 또 여러개의 계단이 설치되어 있어, 모든 방면에서 대피하는 사람들을 받아들일 수 있습니다.

환경면을 배려하는 점에서는, 히나단 테라스나 건물 밖에서 식물도 재배하고 있어, 정원수의 마을 가와구치를 상징하는 청사로 되어 있습니다. 자연에너지를 이용한 녹색에 의한 외기냉각이나 차양, 발코니면의 반광을 이용한 간접광 도입, 태양광발전패널 등도 있습니다. 또 신청사의 상징인[시빅·큐폴라]라는 방풍공간입니다. 이것은 자연광을 적극적으로 도입함과 동시에 굴뚝 효과를 이용하여 바람이 잘 통하고 있습니다. 방풍공간은 유리로 되어 있어, 각 층에 걸려 있는 그림을 바라볼 수 있는 구조로 되어 있습니다.



<누구나 이용하기 쉬운 서비스>

처음 이용하는 사람도 알기 쉽도록 현관 정면에 종합안내가 있습니다. 또한, 오스트메이트 대응 화장실(다목적 WC), 수유실, 어린이 공간, 점자 블록 등이 배치되어 있습니다. 더욱이, 시 홈페이지에 창구 호출·혼잡 상황을 확인할 수 있는 페이지가 있어, 이용하는 사람에 대해 세심한 배려를 하고 있습니다. 3층에는 일상적으로 잘 이용하는 시민과, 국민건강보험과, 국민연금과 등이 있습니다. 그리고, 매주 목요일 시민과 앞에 중국어와 티기어의 통역이 상주하고 있습니다. 이것은 일본어에 익숙하지 않은 외국인에 대한 배려입니다. 시청에서 어떻게 수속할 지 모를 때나 일본어로 대화가 어려운 경우 등, 곤란할 때에 예약없이 쉽게 상담할 수 있습니다. 또, 쓰레기 버리는 규칙 등 생활에 필요한 정보를 기재한 자료가 일본어뿐만 아니라 다언어로도 준비되어 있습니다.

신청사에서는 일상 업무를 하는 것과 더불어 가와구치의 매력을 보다 널리 알리기 위해 다양한 이벤트 등을 하고 있습니다. 매달 한번 정도, [시청 마르세(시장)]가 1층 다목적 공간에서 개최되고 있어, 시내에서 생산한 농산물 등이 판매되고 있습니다. 또한, 2층 현관에는 진열장을 두 개 정도 놓고 시내에서 제조, 가공, 기획한 제품을 전시하고 있습니다. 가와구치시를 더욱 알기 위해 꼭 한번 가보시면 어떻겠습니까?

문의처
가와구치 시청
주소:332-8601 가와구치시 아오키 2-1-1
전화:048-258-1110(대표)
전화접수시간:오전 8시 30분 ~오후 5시 15분 (토요일, 일요일, 공휴일, 연말연시 제외)



가와구치시 불런티어 일본어 교실 소개 ~니시카와구치 일본어 광장~

TOMO×TOMO에서는 가와구치시에 있는 불런티어 일본어 교실을 소개하고 있습니다. 이번에는 ‘니시카와구치 일본어 광장’을 소개하겠습니다.

◇교실의 모습

‘니시카와구치 일본어 광장’은 2013년 10월 5일에 ‘외국인 부모와 자녀를 위한 일본어 교실’로서 시작했습니다. 2명의 불런티어가 시작한 교실은 부모와 자녀 이외의 외국인도 받아들이기 위해 ‘니시카와구치 일본어 광장’으로 이름을 변경했습니다.

교실은 JR게이힌도호쿠선 니시카와구치역 서쪽출구에서 걸어서 15분 걸리는 요코조네공민관에서 매주 토요일 오전11시부터 12시 30분까지 개최되고 있습니다. 학습자는 다양한 연령과 직업을 갖고 있는 분들이 있습니다. 취재 당일은 휴일 낮이라서 초등학생 이하의 어린아이나 기능실습생, 주부 등이 참석하고 있었습니다. 중국출신이 가장 많았고, 그 외에는 태국과 가나, 방글라데시, 베트남 분들도 참석하고 있었습니다.

◇즐겁게 일본어를 공부하기 위한 교안

일본어 교실에서는 즐겁게 일본어를 공부하기 위해 노력하고 있습니다. 교실이 시작되는 11시와 교실이 끝나는 12시 30분에 두 번 학습자와 불런티어가 둥그렇게 모입니다. 그리고 모두 간단한 일본어 공부를 합니다. 취재한 날에는 모두 함께 일본어로 가위바위보 연습하고 있었습니다.

평소 학습내용은 초등학생까지의 어린이 그룹, 초급 그룹, 중급·상급 그룹 3단계로 나누어져 있어서 학습자 레벨에 맞게 공부할 수 있습니다. 학습교재는 자원봉사자가 준비한 것이나 학습자가 가지고 온 참고서 등, 또는 병설 도서관에서 빌려 오고 있습니다. 화이트보드를 사용해서 일본어를 가르치는 자원봉사자와, 배운 것을 열심히 수첩에 적고 있는 학습자의 모습이 보였고, 교실 전체가 활기에 넘쳐 있었습니다.

또한 계절에 맞추어 이벤트나 과외활동도 개최하고 있습니다. 플라네타리움을 견학하거나 타타라 축제에 무희로 참가하거나 일본 정월놀이를 배우며, 교실 밖에서의 일본어 학습도 하고 있습니다. 지금까지는 코로나로 인해 과외활동을 제한하고 있었지만 상황을 보며 다시 할 예정입니다.



◇또 하나의 ‘거처’로

‘니시카와구치 일본어 광장’에서는 일본어를 가르치는 것뿐만 아니라 학습자가 빨리 일본 생활에 익숙해지도록 지원하거나 생활의 곤란한 문제를 상담도 하고 있습니다. 교실은 ‘안심하고 편안한 마음의 터전을 만든다’라는 생각을 기반으로, 학습자에게 ‘가고 싶다, 가면 즐겁다’ 마음 편한 공간을 제공하면서 운영을 계속하고 있습니다. 관심이 있는 분은 꼭 편한 마음으로 교실에 가보십시오.

교실명: 니시카와구치 일본어 광장(가와구치시 불런티어 일본어 교실 일람No.1 5)
활동일시:매주 토요일 오전 11시~오후 12시 30분
장소:요코조네공민관 가와구치시 나카초 10-16
(JR게이힌도호쿠선 니시카와구치역 서쪽출구에서 도보15분)
연락처 : 080-6547-1032 (다카가와 씨)

たぶん かきょうせいじょうほうし と も と も よ
いつも多文化共生情報誌「TOMO×TOMO」を読んでいただき、ありがとう
ございます。

こんごう よ げんごべつ へんしゅう こんご
今号から、より読みやすくなるように、言語別に編集しました。今後も、
どくしゃ みんな じょうほう ていきょう かんが い か にじげん
読者の皆さまによりよい情報を提供したいと考えています。以下の二次元
こーど よ と あんけーと きょうりよく ねが
コードを読み取り、アンケートにご協力ください。よろしくお願いいたします。

あんけーと ななもん やくいつぷん かいとう
(アンケートは7問です。約1分で回答できます。)



たぶん かきょうせいじょうほうし と も と も どくしゃあんけーと
多文化共生情報誌「TOMO×TOMO」読者アンケート
にじげんこーど
二次元コード

- | | |
|---------|--|
| •編集・発行 | 川口市 市民生活部 協働推進課 多文化共生係 |
| •編集長 | 桑矜君 |
| •副編集長 | 田中雅子 |
| •編集委員 | 岸田洋二 塩瀬潔泉 嶋澤紗羅 |
| •翻訳者 | (英) 安井ルイ
(中) 陳晨 桑矜君 姚新華
(越) ファン ヴィエット ハー 木村友紀
(韓) 李淑炯 |
| •表紙デザイン | 嶋澤紗羅 |